

〈PR〉

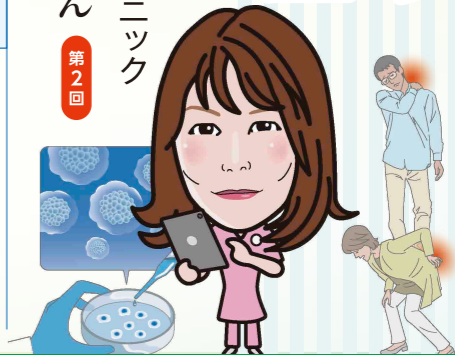
# カラダの 相談室

鳳仁会

Riyoメディカルクリニック

院長 上利理代さん

第2回



## 痛みに対する再生医療

慢性疼痛(とうつこ)とは、3か月以上持続、または通常の治癒期間を超えて続く痛みと定義されています。現状では完全に治すことは難しく、抜本的な改善策がありません。最近、慢性疼痛の治療「体性幹細胞・幹細胞培養上清液」による再生医療が注目されています。

## 器質・心理要因絡み複雑化 期待される幹細胞再生医療

Q 慢性疼痛はどのような病気が教えてください。

A 日本の慢性疼痛の有病率は、成人人口の22・5%で、推計患者数は約2315万人とされています。この痛みは、原因となる病気の治療に必要とする期間を超えても残る痛みです。典型的には、痛みが3か月以上続いたり、関節炎や神経損傷など原因となる傷病が治っても1か月以上続いたりします。

また、器質的要因(臓器の疾患や骨格の変形、関節障害、神経の障害など)、心理社会的要因(心理的ストレスなど)が絡んでより複雑化しています。

一般的な慢性疼痛の治療は、原因の疾患や症状ごとに、薬剤治療、理学療法、精神療法などの集学的治療を行っています。東洋医学・統合医療・西洋医学全てにおいて痛みをなくす治療に手を尽くしてきましたが、抜本的な改善策がなく、残念ながら慢性疼痛を完全に治すことは難しいといわれています。

そこで最近、注目されているのが「幹細胞」を使った第2種再生医療です。幹細胞は、ケガや病気で傷ついた神経や血管・皮膚などの組織の修復をするだけでなく、常に新しい細胞を作りだし、体や臓器の新陳代謝を支えています。また、幹細胞及び培養上清液は、発痛物質抑制や痛みの原因である炎症を抑える効果があるともいわれています。

Q 慢性疼痛に対する再生医療について教えてください。

A 当クリニックは厚生労働省が認可する第2種と第3種の再生医療機関です。



あがり・まさよ 高知医科大学(現高知大)医学部医学科卒業。その後岡山大学医学部放射線科、岡山赤十字病院、びわこ成蹊スポーツ大学主任教授などを経て令和4年Riyoメディカルクリニック院長。再生医療医、統合医療医、放射線治療専門医、日本スポーツ協会スポーツドクター。

☆鳳仁会 Riyoメディカルクリニック 大阪市北区梅田1の2の2  
大阪駅前第2ビル2階 19の1の1号  
Tel 06・6347・5177 <https://ryo-medical-clinic.com>